

## 雲仙・温泉神社の復興支援呼び掛け 諫早・有明支縁会 CF挑戦

災害被災地などの支援に取り組む諫早市のNPO法人「有明支縁会」(草野紀視子理事長)が、雲仙市の温泉神社の再建復興を目標に、同神社と共同でクラウドファンディング(CF)に挑戦している。

草野理事長によると、昨年8月の豪雨による土砂災害で県所有の裏山が崩れ、神社の鳥居やこま犬、灯籠が流された。土産物店やトイレ、駐車場なども大きな被害を受けたが、助成金などは出ておらず、支援がないま

まだという。

同会は「観光地雲仙の中心に位置する温泉神社が再建することで、観光復興にもつながれば」と土砂除去などを手伝い、CFへの取り組みを提案。12月中旬、500万円を目標額に協力を呼び掛けたところ、現在約半分の金額が集まっている。

支援は5000円以上で、金額に応じてお守りや絵馬、御朱印セットなどの謝礼がある。問い合わせは草野理事長(電090・2506・0813)。(江崎博子)



クラウドファンディングの  
QRコード



雲仙・温泉神社への支援を呼び掛けるクラウドファンディングのサイト

温泉神社近くの土産物店で土砂撤去作業にあたる「有明支縁会」のメンバー(同会提供)



8月の記録的大雨で被害に遭った雲仙市小浜町の雲仙温泉街にある温泉神社の再建のため、同神社と災害支援などを行う諫早市のNPO法人「有明支縁会」(草野紀視子理事長)が14日、クラウドファンディング(CF)を立ち上げた。来年2月20日まで寄付を募っている。

# 雲仙・温泉神社再建へ力を

## NPOがCFで寄付募る

8月の記録的大雨で被害

「地域の復興につなげたい」

同神社は温泉街の中心に位置し、島原半島の各地にある温泉神社の総本社で、地元の象徴的な建物。雲仙地獄につながる境内には恋愛成就祈願の「夫婦柿」があり観光客に人気だが、8月13日の大雨で近くの崖が崩れて土砂が流れ込み、鳥居やこま犬は現在も壊れたままだ。

5年前の熊本地震を機に被災地支援を始めた同NPOは、豪雨や台風に見舞われた各地に足を運んで復興作業を続ける。発足後、県内でこれまでにない規模の災害となった今回、直後からメンバーが現地入りし、近くの土産物店の土砂撤去などに取り組んだ。

NPOは現地でのボランティア作業にとまらない

「心の支援」にも力を入れており、雲仙の災害では一部メンバーによる住民のカウンセリングや、土産物店の商品を購入して配布する後押しも行ったという。

CFはその一環で、寄付金の目標額は500万円。損壊した鳥居やこま犬の再建、駐車場の改修などに役立てる。寄付に対する返礼品には、同神社のお守りや御朱印などを当てる予定。

取材に広瀬和一郎宮司(72)は「少しでもご助力いただければ」と述べ、NPOの草野理事長は「神社の再建が雲仙温泉全体の復興へつながってほしい」と話した。

(松永圭造ウィリアム)



クラウドファンディングのQRコード



●土石流で流されたままの鳥居・狛犬・灯籠跡地



●温泉神社所有のお土産店など



●災害前の鳥居と温泉神社正面



●クラウドファンディングリターン品

●5,000 円

身代守護の木札または赤錦見守のどちらか。

●10,000 円

1. (1) 身代守護木札 (2) 錦見守 (3) 温泉神社大麻 (4) 三嶽詣の絵馬の中から 1 つと『一筆箋』の記念品。
2. 温泉神社・普賢神社・妙見神社の三社御朱印セットと『一筆箋』の記念品。

●20,000 円

「10,000 円」のどちらかを選んでいただき、「氏名・住所・金額」を木札に明記して拝殿に掲げます。

●100,000 円

「10,000 円」どちらかを選んでいただき、「氏名・住所・金額」を御影石の石柱に刻印して末代まで残します。

リターン内容の一例

